

演題

急性心筋梗塞合併症に対する外科治療

2024

7/19

金

※来場型開催



講師

心臓血管外科
主任教授 島原 佑介 医師

心臓を栄養する冠動脈が閉塞すると心臓への血流が遮断され、心筋組織が急速に壊死していきます。これを心筋梗塞といいます。心筋梗塞の拡大を防ぐためには、早期の血流再開が必要であり、冠動脈カテーテル治療や冠動脈バイパス手術が行われます。

また急性心筋梗塞は機械的合併症（左室自由壁破裂や心室中隔破裂、乳頭筋断裂）を引き起こすことがあり、早期に適切な治療が行われなければ致命的となります。

外科的手術が鍵となりますが、大動脈バルーンポンピングや経皮的心肺補助装置、補助循環用ポンプカテーテルなどの循環補助を組み合わせることにより、治療成績の向上が得られてきています。

しかし、未だに手術によっても救命できないケースもあります。

今回は、急性心筋梗塞機械的合併症に対する治療戦略をメインテーマとして解説していきます。

日時 2024年7月19日(金) 開場 17:00 開演 17:30 ~ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。